

令和3年度 福祉を考える企業の会 「総会と講演会の夕べ」開催



6月22日（火）地域交流センター（赤穂公民館）にて福祉を考える企業の会の『総会と講演会の夕べ』が開催されました。

総会では、石田耕一会長（石田建設株式会社）より、本会の趣旨や歴史についての紹介や昨年度のコロナ禍における困窮者支援の活動報告の挨拶がありました。また、企業の会へ寄付を頂いた株式会社北澤電機製作所への感謝状贈呈が行われました。

講演会では、地域に住む外国人支援に取り組む「地球人ネットワークinこまがね」をお招きしました。市の企画振興課の矢澤さんによる「駒ヶ根市の外国籍住民の状況」を説明、地球人ネットワークのメンバーによる団体の活動説明がありました。その後、「海外から駒ヶ根市に移り住んだ人々が安心して暮らせる地域を目指して」をテーマにパネルディスカッションが行われました。地球人ネットワークの外国人メンバーによる自身の来日理由や現在の暮らしについての話、企業の会の会員による企業側の外国人雇用についての状況などの話を聞くことができました。

コロナ禍ということで、zoomによる配信も行われる中、会場には福祉を考える企業の会会員とボランティア連絡協議会の会員など50名が聴講しました。



今号の話題

- ✿ 令和2年度決算の概要
- ✿ 社協理事会・評議員会の報告
- ✿ なんでも伝言板 ✿ 正規職員募集
- ✿ 善意銀行報告

発行者

駒ヶ根市社会福祉協議会（ふれあいセンター）

駒ヶ根市梨の木2-25

<http://www.kmshakyo.org/>

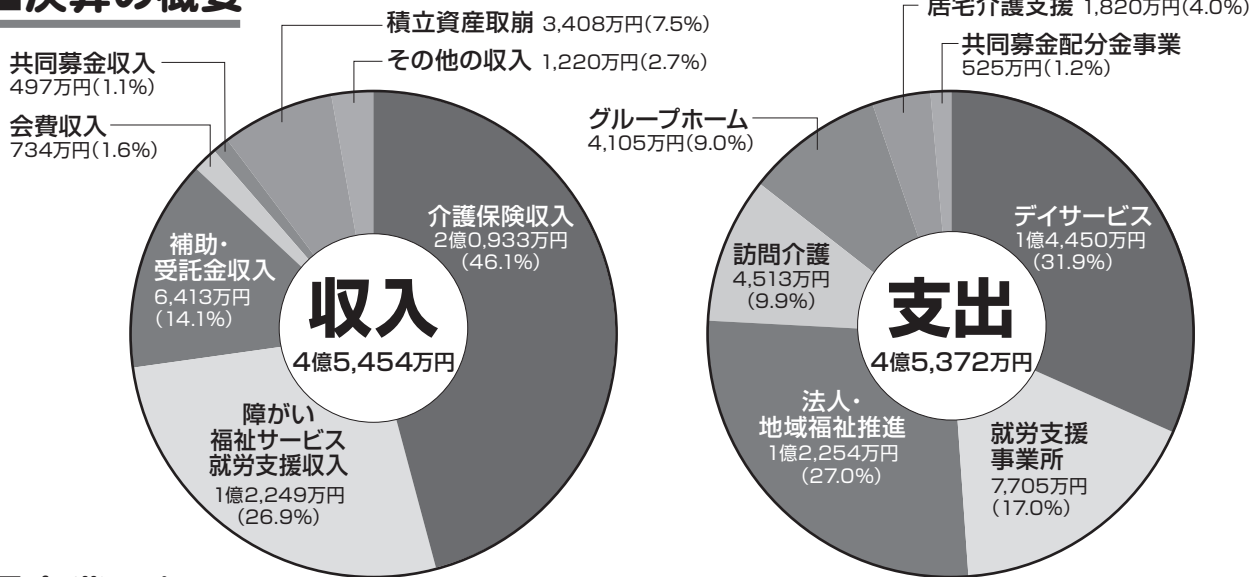
TEL.0265-81-5900 FAX.0265-81-5745



令和2年度

市社協の決算と事業

■決算の概要



■事業の概要

令和2年度当協議会の事業は「支え合いの中で 安心と生きる喜びをもって 笑顔あふれる地域社会を」を基本方針に事業実施を目指しましたが、新型コロナウイルスの広がり、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められました。サロンやふれあい広場等多くの事業が中止となり活動自粛を余儀なくされました。

そこで、コロナ禍でもできる事業を検討し、地域のつながりづくりを進めてきました。高齢者に対する「出前サロン」や、保育園児のメッセージカードを添えてアンケートの実施。また、市内の企業や個人の方から食料やご寄付を活用させていただいた「食料応援の日」、ボランティア連絡協議会・日赤奉仕団・JOCA・市福祉課と連携した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、障がい者グループホームほほえみの家の開所、成年後見事業推進を行ってまいりました。

1. 地域福祉推進事業

増え続ける一人暮らし高齢者や認知症の方を地域で支え、見守るための事業を住民の皆様と協力して展開しました。コロナ禍でも高齢者や障がい者等の支援を継続することに努め、ふれあいいいききサロン事業等にご協力いただいている地域の方やボランティアの支援として、地域支え合いサポーターフォローアップ講座も開催しました。11月にはサロン交流会も実施しました。

権利擁護事業のひとつとして取り組んでいる成年後見事業は、令和2年4月に社会福祉士2名を増員し、6月には定款変更をしました。令和3年1月には運営委員会を開催し、実施に向けて着実に進めています。

相談事業では、心配ごと相談（民生児童委員）、ふれあいやろず相談（社協）、弁護士、司法書士などの専門家による相談も多くなっています。

第36回ふれあい広場は中止となりましたが、第57回社会福祉大会はふれあいセンターにて式典のみ開催することができました。

2. 受託事業

コロナ禍でも高齢者や障がい者等の支援を継続するため、ふれあいセンターや障がい者センター高砂園は利用中止の期間もありましたが、全施設マスク着用・手洗い、消毒の徹底を行い、コロナの影響を最小限に抑えることに努めました。

新型コロナウイルスに伴う生活福祉資金特例貸付は212件、6,450万円になり、生活への影響の大きさと通常の生活に戻るまでに継続した支援が必要なことを痛感しています。

3. 介護保険事業

コロナ禍でも高齢者の支援を継続するため、全施設マスク着用・手洗い、消毒の徹底検温の実施を行い、コロナの影響を最小限に抑えることに努めました。

社協全体の収入の約6割を占める介護保険事業の経営基盤が安定することは、社協全体の経営安定につながることから、令和元年11月には成迫会計事務所（経営コンサルティング）に依頼し、経営のアドバイスをいただきました。また、介護保険事業の現状把握と改善計画を継続するための検討部会も設置して、毎月検討会を行い経営安定に努めております。

4. 障害者自立支援事業

コロナ禍でも高齢者の支援を継続するため、全施設マスク着用・手洗い、消毒の徹底検温の実施を行い、コロナの影響を最小限に抑えることに努めました。

令和2年11月に高齢者グループホームほほえみの家を終了し、令和3年2月に障がい者グループホームほほえみの家として開所することができました。障がい者の方が安心して暮らせるグループホームになるように運営を始めました。

新型コロナウイルスは市内企業にも多大な影響を与え、たんぼほの家、伊南桜木園にご協力いただいている企業も発注の停止や縮小を余儀なくされました。たんぼほの家ではマスク制作に取り組み、伊南桜木園では果樹の収穫等新たな取り組みを行いました。利用者の工賃は昨年と比べ減少となってしまいました。

就労支援センター伊南桜木園は、工賃は1人当たり月平均支給額18,829円、障がい者自立支援センターたんぼほの家は、工賃は1人当たり月平均支給額10,322円となりました。

5. 指定特定計画相談支援事業

障がい者計画相談事業は、利用者についてアセスメント、支援計画作成を行いました。地域において自立した日常生活、社会生活ができるよう、利用者の立場で計画相談を行いました。

社協理事会・評議員会の報告

令和3年 6月14日 理事会開催
6月25日 評議員会・理事会開催

◎可決された主な議案

- 令和3年第1回理事会 (令和3年6月14日開催)
令和2年度事業報告・決算報告・監査報告他
- 令和3年第1回評議員会 (令和3年6月25日開催)
理事及び監事の選任について
令和2年度事業報告・決算報告・監査報告他
- 令和3年第2回理事会 (令和3年6月25日開催)
会長・副会長及び常務理事の選任について他

◎人事

任期満了による役員が下記のように決定致しました。

令和3年6月評議員会後から令和5年6月評議員会まで

《理事の選任》

| | |
|----------|--------------|
| 有賀 秀樹 氏 | 知識経験者 |
| 山浦 泰子 氏 | 市民生児童委員協議会長 |
| 中村 竜一 氏 | 市民生部長 |
| 松井 浩二 氏 | 市社協事務局長 |
| 中坪 宏明 氏 | 市区長会長 |
| 唐澤 浩 氏 | 市教育委員 |
| 梶田 ひと美 氏 | 市ボランティア連絡協議会 |
| 塩澤 総夫 氏 | 西駒郷所長 |

《監事の選任》

| | |
|----------|---------|
| 菅 沼 孝夫 氏 | 元市議会議員 |
| 橋田 利雄 氏 | 社会保険労務士 |

令和3年6月評議員会から令和7年6月評議員会前まで

《評議員の選任》

| | |
|---------|----------------|
| 新井 幸徳 氏 | 市区長副会長 |
| 水上 芳通 氏 | 市高齢者クラブ連合会会長 |
| 松原 智文 氏 | NPO法人地域支え合いネット |
| 征矢 公男 氏 | 市民児協副会長 |
| 平島 篤 氏 | 駒ヶ根悠生寮施設長 |
| 小松 民敏 氏 | 市赤穂公民館館長 |
| 竹村 知子 氏 | 市議会教育民生建設委員 |
| 富永 満 氏 | 商工会議所専務理事 |
| 石田 耕一 氏 | 福祉を考える企業の会会長 |

地域支え合いサポーター養成講座

第5回地域支えあいサポーター養成講座が7月7日、14日、26日に開催されます。この講座は、地域のサロン等の担い手として活躍していただくための、人材発掘や高齢者に関わる知識、レクリエーション技術を身につけることを目的にしています。参加者は26名でした。

本年は、コロナの影響で地域活動が制限されているなか、いかに人と人の交流の機会が重要であるか、地域活動が必要であるかの説明や、実際に地域で活動する担い手さんが通いの場(サロン)での使用しているレクリエーショングッズの体験などが行われました。地域での支え合いサポーターの一員として、皆さまのご活躍をこれからも応援していきます。



フードバンク寄付

駒ヶ根市東中学校の『総合の学習の時間』で活動されている7班の皆さんよりフードバンクの寄付を頂きました。班活動を進めていく中でフードバンクを知り、各家庭などに呼びかけを行い、集まったお米・飲料水・缶詰などの食料を班長、副班長、リーダーの3名が駒ヶ根市社協まで届けてくださいました。

生活支援に役立てていきたいと思っております。ありがとうございました。





なんでも伝言板

申し込み・お問い合わせは社協へ
TEL 81-5900

駒ヶ根市社協で福祉車両を貸し出します。

利用の主な対象者

- ・家族や親族の送迎で通院を行う際、車イス等の理由で自家用車での通院が困難な方

利用料

- ・3キロ以内200円 1キロ増すごとに30円

申請にあたる必要なもの

- ・印鑑、運転者の免許証

お問合せ 駒ヶ根市社会福祉協議会 地域福祉振興係
電話81-5900 担当：櫻井

フェイスタオル募集

デイサービスセンター大原こだま園では、フェイスタオルを使って、ご利用者様が台拭き等を縫ってくださっていますが、フェイスタオルが不足しています。

ご自宅に使用していないフェイスタオルがございましたら1枚でも構いませんのでご寄付をお願いいたします。

お問合せ デイサービスセンター大原こだま園
電話83-6986 担当：原

子ども服リサイクルコーナー

駒ヶ根東中学校ふるさと班7班の皆さんがボランティア活動の一環で、ご家庭で不要になった子ども服を回収し、高砂園の子ども服リサイクルコーナーに寄付をしてくださりました。

東中学校の皆さん、たくさん子ども服をありがとうございました。

現在高砂園にはたくさん子ども服がありますので、ぜひ一度見にいらしてください!



お問合せ 高砂園
電話82-2012 担当：酒井

令和3年度 社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会正規職員募集

資格要件 介護福祉士・社会福祉士・看護師・作業療法士
・介護支援専門員等福祉関係の国家資格所有者
○新卒者等：資格取得者または見込みの者
○社会人：資格取得者

募集人数 若干名

一次試験 令和3年8月20日(金)までに、履歴書、資格要件証明書の写し、作文を駒ヶ根市社会福祉協議会まで提出

作文テーマ ①地域における社協の役割について、あなたはどのように考えますか。
②介護の専門職として、あなたが最も大切にしたいことはなんですか。
③福祉専門職の相談スキルにとって、あなたは何が最も重要だと思いますか。
上記3題から一つ選び800字以内(自筆作成のこと)

二次試験日 令和3年9月12日(日) 午前10時より面接試験

合否決定通知 一次試験結果 8月27日(金) 発送予定
二次試験結果 9月17日(金) 発送予定

採用時期 令和4年4月1日

勤務職場 本会運営の市内福祉施設
介護保険事業所・障がい者支援事業所・地域福祉振興事業所

◇ホームページに掲載してあります。

お問合せ 駒ヶ根市梨の木2-25(ふれあいセンター内)
社会福祉法人 駒ヶ根市社会福祉協議会
総務課(松井・宮崎)
TEL 0265-81-5900 FAX 0265-81-5745
ホームページ: <http://www.kmshakyo.org/>



善意銀行報告

あたたかな真心、ありがとうございました。
(令和3年4月1日～6月30日)

| 寄付者等 | 金額(円)・物品 |
|-----------------|----------|
| 赤穂地区遺族会 様 | 420,000円 |
| 駒ヶ根市高齢者クラブ連合会 様 | 50,100円 |
| 立正佼成会伊那協会 様 | 玄米120kg |

| | |
|-----------|---------|
| 辰ノ口祐三 様 | 玄米120kg |
| 連合上伊那地協 様 | 食料品 |
| 松村英城 様 | 車いす1台 |